

病床管理システム 仕様書

仕様番号			仕様内容
1			基本要件
1	1		機種に関する概要
1	1	1	別紙に定める機種にて提案を行うこと。
1	2		導入に関する要件
1	2	1	システム設計、プログラム製造からシステム総合テストまでの現場ヒアリング及び作業、マニュアル作成、当院職員への操作研修、本稼動前のリハーサル、本稼動立会い、安定稼動までのシステム支援等、すべてに対応すること。
1	2	2	システム構築の途中において、随時、画面構成および機能、操作性の説明を行いユーザーが確認できるようにすること。
1	3		開発に関する要件
1	3	1	受注者は構築を遅延なく進め、かつ品質を維持することが可能となるよう、十分な体制を整備すること。
1	3	2	契約後速やかに以下の内容を含む作業基本計画書を当院に提出し、承認を受けること。また、これを変更する場合も同様とする。
1	3	3	○ 実施業務の内容と方針 ○ 業務詳細工程 ○ 業務担当組織 ○ 作業実施場所 ○ 情報セキュリティ順守方針 ○ その他、本提案依頼書に明示されていない事項で当院が必要性を認めたもの
1	3	4	開発の経過及び進捗等について、当院に対し定期的に報告すること。
1	3	5	当院との間で開催される打ち合わせに係る記録については、受注者において、その都度記録し、当院と受注者の双方で確認をとること。
1	3	6	システム開発工程において品質管理作業を行い、それに関連する成果物を当院に提出すること。
1	3	7	開発に必要となる機器、開発ツール、媒体、事務用品等の調達、場所の確保、交通費、通信費等については受注者の負担とすること。
2			システム要件
2	1		基本事項
2	1	1	電子カルテ端末での院内配信ができること。
2	1	2	以下の3省2ガイドラインに準拠していること。 ①厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第6.0版」（令和5年5月） ②経済産業省「医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン 第1.1版」（令和2年8月） 特に「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」は最低限クリアしていること。
2	1	3	個人情報保護法に準拠していること。
2	1	4	データセンターに関連する第三者認証を取得していること。
2	1	5	セキュリティに関する以下の第三者認証のうち、ISO 27001（ISMS）を取得していること。
2	1	6	政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）の認証を受けたクラウドサービスを利用していること。
2	1	7	日本国内での導入実績が複数施設あること。
2	2		機能要件
2	2	1	少なくとも、以下の当院診療系ネットワーク（閉鎖系）内システムとの連携が可能であること。

2	2	2	電子カルテ等基幹システム（NEC:MegaOak HR）
2	2	3	就業管理システム（テック情報株式会社：STORK.NaVi）
2	2	4	電子カルテなど院内のデータを、AIを活用することで、一元的かつリアルタイムに分析・可視化して表示できること。
2	2	5	病床稼働状況をリアルタイムに予測・分析し、表示可能であること。
2	2	6	電子カルテシステム等に登録された入院患者情報を表示可能であること。
2	2	7	再入力の手間がなく、既存の登録情報より病床及び入院患者のリアルタイムな状況を表示可能であること。
2	2	8	患者の退院予定、入院予定を表示可能であること。
2	2	9	患者の基本情報並びに入院、転棟、退院といった一連の患者の動きについて表示できること。
2	2	10	経営に係る情報（入退院数、DPC入院期間Ⅱ超率、病床機能別稼働状況、看護基準（7対1）の評価等）を月別・部署別で統計・解析・表示できること。
2	2	11	患者の診療情報を表示可能であること。
2	2	12	表示方法は、各種モニターの他、電子カルテシステムが使用できる診療系ネットワーク端末で表示可能であること。
2	2	13	上記診療系ネットワーク端末で表示する際は、アプリケーションの必要ライセンス数は端末数に関わらず1であること。
2	2	14	当院と協議の上、当院が指定する情報の抽出・解析・表示が可能であること。
2	3		<b>タイル「Capacity Snapshot」要件</b>
2	3	1	急性期病棟・高機能病棟など、病棟関連情報を表示できること。
2	3	2	入院患者の氏名・ID・年齢・性別・入院している病棟/病室/病床を表示できること。
2	3	3	稼働病床数を表示できること。
2	3	4	現在の各病棟の入院患者数（男女別等）を表示できること。
2	3	5	各病棟の病床利用率を表示できること。
2	3	6	各病棟の空床合計数（男女別等）を表示できること。
2	3	7	部屋別空床状況を表示できること。
2	3	8	予定外（臨時・緊急）入院の患者数を表示できること。
2	3	9	各病棟の入院、退院、転棟、外出・外泊など、患者移動に関する数を表示できること。
2	3	10	空床、入院中など病床の状態変化を表示できること。
2	3	11	情報の更新日時が表示されること。
2	3	12	重症病棟におけるデータをリアルタイムに連携できること。
2	4		<b>タイル「Discharge Tasks」要件</b>
2	4	1	入院患者の氏名・ID・年齢・性別・診療科・入院病棟/病室/病床を表示できること。
2	4	2	入院患者の主治医を表示できること。
2	4	3	入院患者のDPC病名を表示できること。
2	4	4	入院患者のDPC期間Ⅰ～Ⅲ情報を表示できること。
2	4	5	入院患者の退院予定日を表示できること。
2	4	6	退院を阻害する要因（カテーテル、ドレーン、化学療法等）を表示できること。
2	4	7	CRPなど、各入院患者の容態を確認することができる数値を表示できること。
2	4	8	情報の更新日時が表示されること。
2	4	9	退院調整の介入状況（介入開始日・調整日等）を表示できること。
2	5		<b>タイル「Staffing Forecast」要件</b>
2	5	1	各勤務帯で病棟で業務にあたる看護師氏名・ID・所属病棟を表示できること。
2	5	2	予定入院に係る情報（入院決定日時情報、入院予定依頼日）を表示できること。
2	5	3	転倒転落スコアで閾値を設定し、リスクの高い患者数を表示できること。
2	5	4	NEWS Scoreで閾値を設定し、リスクの高い患者数を表示できること。
2	5	5	退院を阻害する要因（カテ、ドレーン、化学療法等）を表示できること。

2	5	6	看護必要度B項目の点数が閾値以上の患者数を表示できること。
2	5	7	病院内独自の看護師技能評価による、各職員の技能スコアを取得できること。（ラダーレベル、経験年数など）
2	5	8	各勤務帯で病棟で業務にあたる看護師の勤怠情報を取得できること。
2	5	9	その日に実施する処置の件数やその内容を表示できること。
2	5	10	その日の手術・検査の件数等を表示できること。
2	5	11	情報の更新日時が表示されること。
2	6		ハードウェア要件
2	6	1	システムのソフトウェア、ハードウェア、ネットワークについて十分な拡張性と柔軟性を有すること。
2	6	2	システムは、24時間365日安定した連続運用ができること。
2	6	3	システムを停止することなくメンテナンスができること。
2	6	4	ストレージ容量は、1.2TB SAS HDDx 3本 および 2.4TB SAS HDDx 4本構成以上であること。
2	6	5	1Gbit/sec 以上のイーサネットポートを2ポート以上有すること。
2	6	6	各ユニットが「19インチ」相当のラックに格納されていること。
2	6	7	主記憶容量は、128GB以上であること。
2	6	8	CPUの処理能力は、クロック周波数2.6GHz 24core以上の性能・機能を有すると判断されるものを2個以上搭載すること。
2	6	9	OSは可能な限り最新のバージョンを用いること。
2	6	10	システム停電時に5分以上電源供給が可能であると共に、停電である旨を処理装置に通知する機能を有する無停電電源装置を有すること。
2	6	11	停電、瞬断、電圧低下等一定時間の電源損失継続時には、データを損失することなくシステムを安全に停止できること。
2	6	12	電源が二重化されていること。
2	6	13	ネットワークへの不正な接続および、不正なソフトウェアのインストールができないこと。
2	6	14	各システムおよび医療機器間の円滑な情報連携を実現すること。
3			セキュリティ・保守要件
3	1		セキュリティ要件
3	1	1	ウイルス感染や改ざん対策等に十分配慮されたシステムであること。
3	1	2	通信回線に対する侵害対策が施されていること。
3	1	3	不正プログラムに対する侵害対策が施されていること。
3	1	4	本システム関連機器及びソフトウェア等について、セキュリティホールの存在が発覚した場合に、即時に適切な対応を行うこと。
3	1	5	不正監視・追跡のため、ログ管理及び不正監視機能が付いていること。
3	1	6	データ保護のため、機密性・完全性を確保していること。
3	1	7	事業が継続できるようシステムの構成管理を行い、可用性を確保すること。
3	1	8	情報システム構築において、外部委託する場合に不正プログラム等が組み込まれないよう対策していること。
3	1	9	調達するシステム関連機器またはクラウドサーバー等に不正プログラム等が組み込まれないよう対策していること。
3	1	10	情報セキュリティ水準が低下しないよう対策されていること。
3	1	11	プライバシー保護について対策されていること。
3	1	12	情報セキュリティインシデントへの対処方法を整備していること。
3	2		保守要件
3	2	1	保守管理することを目的に、リモート回線を要すること。リモート回線の開通場所は本設備の設置場所と同一とするか、または開通場所から本設備の設置場所までのネットワーク設備を要すること。

3	2	2	保守の受付時間は、24時間365日とすること。
3	2	3	保守の対応時間は、24時間365日とすること。
3	2	4	コマンドセンターの企画・設計をすること。
3	2	5	コマンドセンターの実装までのロードマップを策定すること。
3	2	6	コマンドセンターのプラットフォームを導入すること。
3	2	7	コマンドセンターを実装すること。
3	2	8	提案依頼書に記載されていない作業が必要となった場合は、当院、受注者双方協議の上、決定または変更すること。